

2024年度
マツダ財団寄付講義
(単位互換科目)

女学院大学
「ディベート演習」

報告書

公益財団法人マツダ財団

目次

1. 寄付講義開設の経緯.....	3
1.1 マツダ財団の寄付講義について.....	3
1.2 開講の経緯.....	3
1.3 本講義の目的.....	3
2. 講義の内容.....	3
2.1 講義の形式.....	3
2.2 講義の詳細.....	3
3. 受講生アンケート結果.....	4

1. 寄付講義開設の経緯

1.1 マツダ財団の寄付講義について

マツダ財団の寄付講義は、1995年に開始しました。社会人として必要な視点・能力の醸成に寄与すべく、実際の社会の仕組みを理解するとともに、現在の日本の課題、世界の課題を社会科学的視点によりとらえ、これから必要とされる「柔らかな社会（社会の不足部分を人と人との支えあいでも補う）」での生活者、社会人としての役割やビジョンについて、次世代を担う学生と共に考える「双方向」の講義を目指しています。

1.2 開講の経緯

マツダ財団では、1995年より、広島大学、広島工業大学でディベートの講義を開催してきました。現在は、広島大学大学院で、前期と後期各1講座を行っています。先を見通すことが難しい社会情勢の中、周囲に流されることなく、自分自身で考える習慣を身につけることが大切だと考え、より広くディベートを学んでいただく機会を提供したいと考えました。

1.3 本講義の目的

本講義では、ディベートを基礎から学び、自ら体験するなかで、情報を収集・分析し、体系的に考え・論じ、相手に理解されるスキルを向上させます。そして、論理的思考を中心に傾聴力、発信力、主体性、実行力などを総合的に伸ばすことを目的とします。

2. 講義の内容

2.1 講義の形式

日時：2024年5月14日(火)～7月2日(火)、10:40～12:10（2コマ×8日間）

場所：広島女学院大学

講義構成（*ゼミの一部として講義を実施）

2.2 講義の詳細

第1回 インTRODクシヨン 企業と人材、論理的思考

本講義の趣旨説明、企業の求める人材、コミュニケーション力とはなにか？

について考える。論理的思考の重要性について知り、後天的に伸ばすことができる

“スキル”であることを知る。スキルアップするにはディベートが有効であることを認識する。

第2回 ディベートの説明、チーム分け、ディベート練習の準備

ディベートのルール説明と練習用の論題を聞き内容を理解する。

チーム分けを行い、ディベート練習の準備を実施する。

第3回 ディベート練習①

練習論題に対し、ディベート練習を肯定/否定/ジャッジの役割交代しながら体験する。

ディベートに必要な情報の質と量、タイムマネジメントについて知る。

第4回 ディベート練習②

練習論題に対し、ディベート練習を肯定/否定/ジャッジの役割交代しながら体験する。

ディベートに必要な聞くこと、理解しまとめて発信することの難しさを知る。

第5回 論題探索

自分たちが興味のある論題候補をリストアップし、ディベート練習の経験を元に、

情報量、情報の入手性、取組やすさ、作戦立案、盛り上がりなどを考慮し、

本戦の論題を議論の末、選定する。

第6回 ディベート本戦①

ディベート本戦を肯定/否定/ジャッジの役割交代しながら、2 試合実施する。
他チームの状況も把握し、追加情報、作戦を整理する。

第 7 回 ディベート本戦②

ディベート本戦を肯定/否定/ジャッジの役割交代しながら、2 試合実施する。
他チームの状況も把握し、追加情報、作戦を整理する。

第 8 回 ディベート本戦③

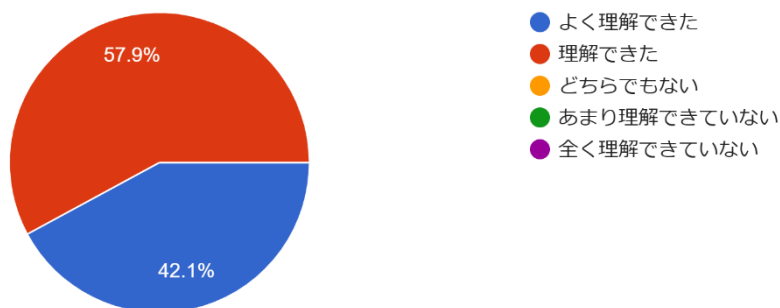
ディベート本戦を肯定/否定/ジャッジの役割交代しながら、2 試合実施する。
本講義で学んだことを整理してまとめる。

3. 受講生アンケート結果

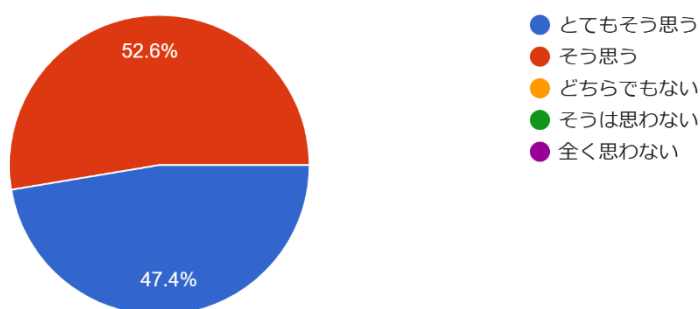
講義をすべて終了したのちアンケートを実施しました。

結果を以下に示します。

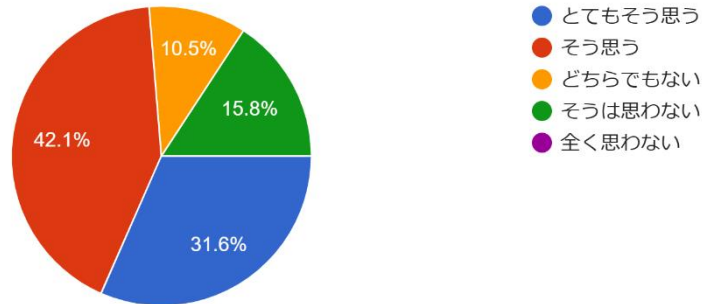
ディベートがどういうものか理解ができましたか...一番あてはまるものにチェックを入れてください
19 件の回答



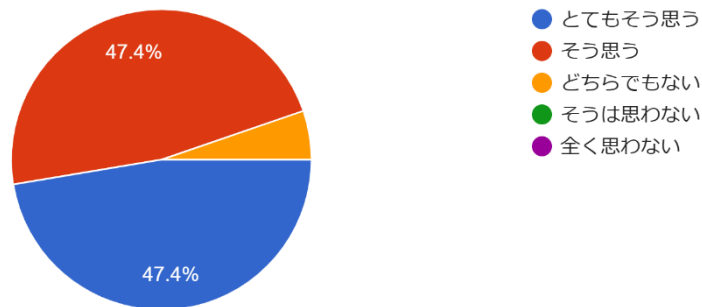
ディベートは自分にとって必要なスキルだと感じ...一番あてはまるものにチェックを入れてください
19 件の回答



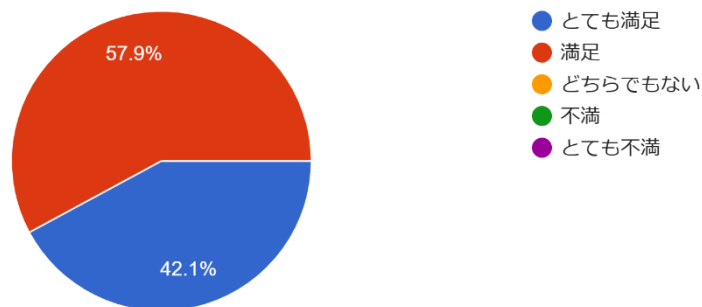
ディベートは自分で身につけられるスキルだと感...一番あてはまるものにチェックを入れてください
19件の回答



この講義を後輩に勧めたいと思いますか？ 一番あてはまるものにチェックを入れてください
19件の回答



この講義の満足度を教えてください？ 一番あてはまるものにチェックを入れてください
19件の回答



このほか、将来に備え、大学時代に高めたいスキルは？の質問に対しては、

- ・言語化能力、正確に伝える力
- ・コミュニケーション能力

などの回答がありました。

講義の改善点についての質問に対しては、

- ・ディベートの回数をもっとふやしてほしい
- ・ディベートの準備の期間をもっと欲しい
- ・自分たちのディベートをビデオに撮って見返してみてもいいのでは？

などの回答がありました。

アンケート結果から、ディベートの基本は理解していただき、興味を持っていただけたと感じています。自分の考えを言語化すること、伝えること、相手に理解をもらうことなど、普段生活する中で習慣化してスキルアップにつなげていただけるとよいと思います。

ディベートは、情報収集の質・量の重要性もさることながら、まとめるスキル、言語化するスキル、瞬時に次の作戦を立てるスキルなどを身につけることができるなど今後社会人となり生きていく上で必要なスキルの向上につながると思います。

今後も多くの学生が受講され、よりよい人生・社会の醸成に寄与できると幸いです。

以上

発行：2025年2月 公益財団法人マツダ財団 広島県安芸郡府中町新地3-1 事務局長代理 佐々木 寛滋
--